

OMIYA MAIL NEWS



FAST
TRANSPORT
SERVICE WORKERS
UNION

JR東日本輸送サービス労働組合
JTSU-E OMIYA 大宮地方本部

2024.12.22
No. 016



HOMEPAGE



TWITTER

5. 南浦和駅上下中線、東十条駅中線、蒲田駅中線および桜木町駅中線のホームドア稼働時期を明らかにするとともに、各駅における折り返し時間を6分以上確保すること。

回答：ホームドアについては、順次整備する考えである。また、必要な時分は確保しているところである。

組合) わかっているドアの設置時期は？

会社) 設置時期は未定である。若干当初よりも遅れている駅もあるが、概ね問題ない。

組合) 近年、運転士側でやる作業が増えている、会社が想像する以上に作業時間が足りない。

会社) 意見としては承る

組合) ホームドアが完備されたら余計に動線が狭まり時間もないうえに作業しづらくなる。問題が発生する前に対策を。

(南オフィス)

1. 平日 2320B および休日 2310B の磯子駅において、着発 30 秒の停車時分を確保するために、大船駅の発時刻を10秒上げて、磯子駅の発時刻を10秒下げる。

回答：必要な時分は確保しているところである。

組合) この列車は磯子で10秒停車である理由を教えてください。

会社) 横浜での私鉄との接続の関係でこのような設定になっている。

組合) 蒲田行最終列車だと思えますが、磯子駅は乗務員交代駅なので停車は30秒あるべきだ。

会社) 現場の声としては承る。

2. 本郷台乗泊地のシャワー室を増発すること。

回答：設備の整備については、必要に応じて関係機関に要請していく考えである。

組合) 近年ますます入区時間が密になり、入浴を辞退せざるを得ない現状になっている

会社) 横浜支社でも同様の認識である。図面を見たところ非現実的なことではないと認識している。

組合) 何年も毎年要求している。それだけ急務な案件。乗務員は実現させるために、要求のハードルを下げている。

会社) 現場の声は承った。

3. 上野駅および東京駅において、南行ホーム蒲田方にそれぞれ乗務員用トイレを設置すること。

回答：設備の整備については、必要に応じて関係機関に要請していく考えである。

組合) 南行で言うと東十条を出たら蒲田まで45分間乗務員が使えるトイレがありません。

会社) トイレを新設する計画はない。上野においては常時駅員がいる状況ではない。緊急時は指令を通じて使用できる駅でトイレ使用していただきたい。現実的に営業線路に近い場所には維持管理メンテナンスが必要になる。

4. 浦和駅指示業務における乗務員の営業知識向上の観点から、指導訓練枠外での営業勉強会を実施すること。

回答：必要な教育等は行っていく考えである。

組合) タブレットの格納場所は示されているが、教育へは反映されていない。別の形式を求めたい。

会社) 現在では考えていない。統括センターになり、同じ職場になったので南オフィスモビリティサービスに相談してもらってもいいのではないかと考えている。

5. 退勤点呼の際、特段異状が無い場合における状況報告書の提出が省略となったことについて、整理時間の考え方を明らかにすること。

回答：必要な時間は確保しているところである。

組合) 5月から異状なければ全てが省略となった。整理時間が今後短縮されてしまうのか？

会社) 本社からはまだ通達が来ていないので回答しかねる。

次号につづく →→→